

旧鶴見工業高等学校跡地の利活用について

平成23年3月に閉校となった市立鶴見工業高等学校の跡地につきましては、これまでに実施したアンケート調査結果などによる地域のご要望や課題を踏まえ、「福祉施設等の充実」、「防災性の向上」、「にぎわいの向上」という地域まちづくりの観点から利活用を進めます。

跡地は、道路を挟んで東西に分かれています。東側敷地では、特別養護老人ホームや防災に資する通り抜け通路を整備します。西側敷地では、横浜市医師会立看護専門学校の移転・再整備先として活用するとともに、いっとき避難場所にもなる公園の整備や防災に資する通り抜け通路の確保を進めます。

また、東西両敷地とも、各施設予定地以外については、民間活用を検討しています。民間活用にあたっては、まちづくりや地域の課題解決など、地域の活性化にもつながるよう、公募条件を検討しています。

■土地利用概略図



※各施設の敷地境界は概ねのイメージです。
(裏面あり)

■今後のスケジュール案

| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 |
|------|-----------|----------------------------|-------------|-----------------------|-------------------------|------|
| 東側敷地 | 校舎解体 | 解体工事 | | | | |
| | 通り抜け機能 | 用地取得等 | 工事 | ※完成後、他の工事状況等を見極めて使用開始 | | |
| | 特別養護老人ホーム | 公募 →基本設計 | 実施設計 →工事 | 工事 | 開所 | |
| | 民間活用 | 事業者対話 | 公募 | 設計→工事 | 工事 | 供用開始 |
| 西側敷地 | 校舎解体 | 解体工事 | | | | |
| | 通り抜け機能 | ※看護専門学校敷地及び公園において通り抜け機能を確保 | | | 使用開始 | |
| | 公園 | | 設計 | 工事 | 開園 | |
| | 消防団器具置場 | | | 設計 | 工事 | 使用開始 |
| | 看護専門学校 | 実施設計 →工事 | 工事 | 工事 →開校準備 | 開校 | |
| | 民間活用 | 事業者対話 | 公募 | 設計→工事 | 工事 | 供用開始 |
| | 旧テニスコート | 地元連合町内会による暫定利用 | | | まちづくり事業での活用検討 (一定期間) | |

※現時点の目標です。

※本資料は、昨年3月に近隣自治会・町内会で回覧していただきました資料について、内容を更新したものです。